

## 負債の状況

### 1 概要

二人以上の世帯の負債現在高は509万円で、前年に比べ10万円、2.0%の増加

二人以上の世帯における2014年平均の1世帯当たり負債現在高（平均値）は509万円で、前年に比べ10万円、2.0%の増加となった。このうち勤労者世帯についてみると、負債現在高は756万円となっており、前年に比べ16万円、2.2%の増加となった。

負債年収比（負債現在高の年間収入に対する比）をみると、二人以上の世帯では82.9%と前年に比べ1.9ポイントの上昇となり、勤労者世帯では107.7%と前年に比べ3.2ポイントの上昇となった。

二人以上の世帯に占める負債保有世帯の割合は37.8%で、前年に比べ0.9ポイントの低下となった。このうち勤労者世帯についてみると、負債保有世帯の割合は52.9%で、前年に比べ1.1ポイントの低下となった。

二人以上の世帯の負債保有世帯に限ってみると、負債現在高の平均値（1349万円）を下回る世帯が57.4%を占めている。また、負債保有世帯を二分する中央値は、1019万円（前年981万円）となった。このうち勤労者世帯についてみると、負債保有世帯の負債現在高の平均値（1428万円）を下回る世帯の割合は53.8%となっている。

（表4，図4）

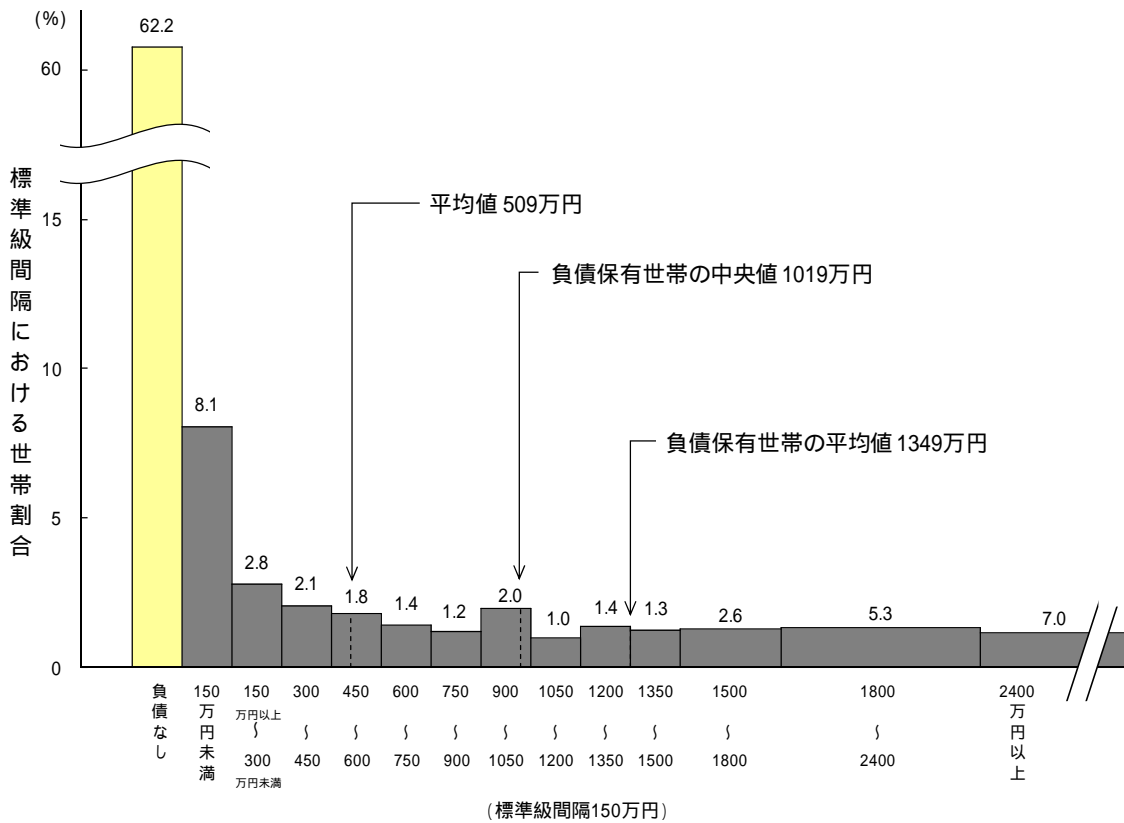
表4 負債現在高，負債保有世帯の負債現在高の推移

年次	負債現在高 (1) (万円)	年間収入 (2) (万円)	対前年増減率		負債年収比 (1)/(2) (%)	負債保有世帯の割合 (%)	負債保有世帯の負債現在高 (万円)	負債保有世帯の中央値 (万円)
			負債現在高 (%)	年間収入 (%)				
二人以上の世帯								
2002年	537	683	-	-	78.6	43.4	1239	734
2003	508	660	-5.4	-3.4	77.0	42.9	1183	719
2004	524	650	3.1	-1.5	80.6	42.8	1223	808
2005	501	645	-4.4	-0.8	77.7	40.8	1227	798
2006	506	645	1.0	0.0	78.4	41.0	1233	815
2007	505	649	-0.2	0.6	77.8	40.6	1242	892
2008	498	637	-1.4	-1.8	78.2	41.1	1211	830
2009	479	630	-3.8	-1.1	76.0	40.5	1184	860
2010	489	616	2.1	-2.2	79.4	40.0	1223	859
2011	462	612	-5.5	-0.6	75.5	38.2	1207	888
2012	469	606	1.5	-1.0	77.4	38.9	1208	862
2013	499	616	6.4	1.7	81.0	38.7	1291	981
2014	509	614	2.0	-0.3	82.9	37.8	1349	1019
二人以上の世帯のうち勤労者世帯								
2002年	607	748	-	-	81.1	52.2	1164	797
2003	605	721	-0.3	-3.6	83.9	51.6	1171	875
2004	655	730	8.3	1.2	89.7	52.7	1242	975
2005	616	719	-6.0	-1.5	85.7	49.8	1238	965
2006	624	713	1.3	-0.8	87.5	51.2	1219	948
2007	664	718	6.4	0.7	92.5	51.3	1294	1033
2008	652	717	-1.8	-0.1	90.9	52.4	1244	985
2009	643	709	-1.4	-1.1	90.7	52.8	1216	1010
2010	679	697	5.6	-1.7	97.4	52.8	1287	1036
2011	647	689	-4.7	-1.1	93.9	51.9	1246	1035
2012	695	691	7.4	0.3	100.6	53.5	1300	1077
2013	740	708	6.5	2.5	104.5	54.0	1369	1180
2014	756	702	2.2	-0.8	107.7	52.9	1428	1255

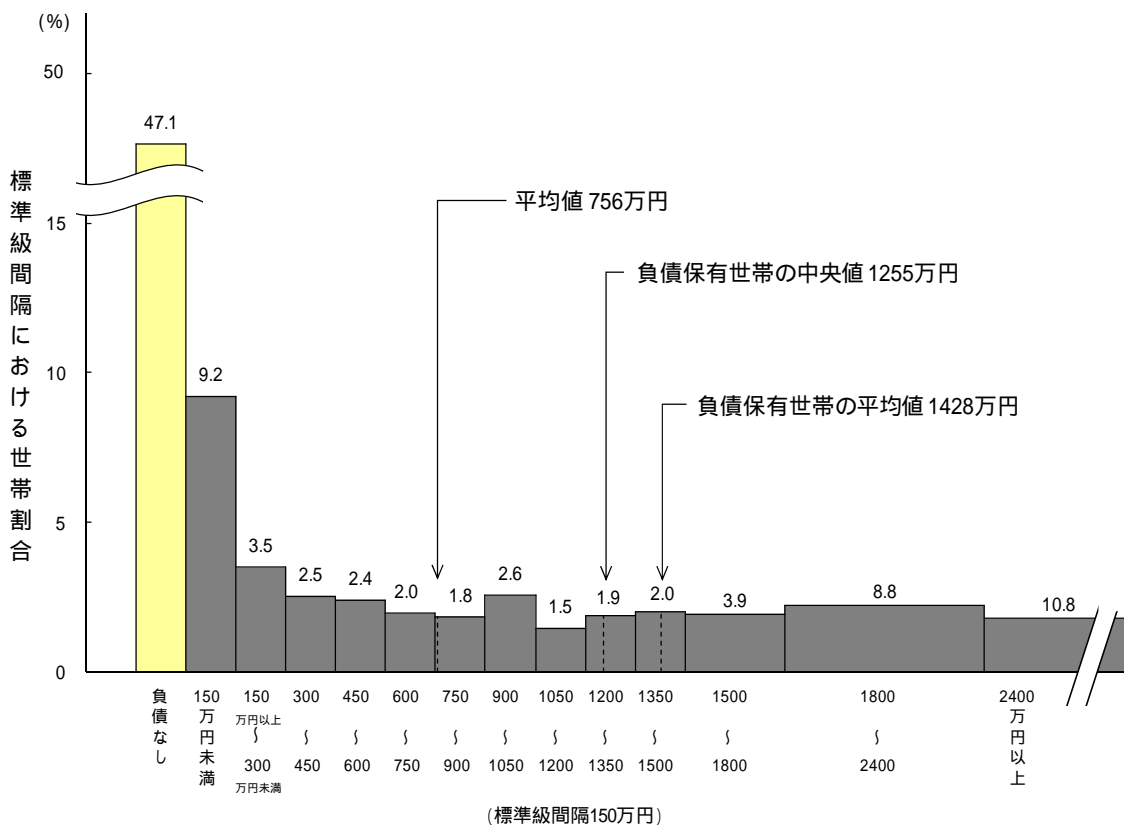
負債保有世帯の中央値とは、負債現在高が「0」の世帯を除いた世帯を負債現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の負債現在高をいう。

図4 負債現在高階級別世帯分布 - 2014年 -

(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



注) 標準級間隔 150 万円 (1500 万円未満) の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、1500 万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いため、縦軸目盛りとは一致しない。

## 2 負債の種類別内訳

二人以上の世帯の住宅・土地のための負債は458万円で、前年に比べ10万円、2.2%の増加

二人以上の世帯について負債の種類別に負債現在高をみると、負債現在高の9割を占める住宅・土地のための負債は458万円で、前年に比べ10万円、2.2%の増加となった。

このうち勤労者世帯についてみると、住宅・土地のための負債は710万円で、前年に比べ23万円、3.3%の増加となった。

二人以上の世帯の住宅・土地のための負債について、借入先の内訳をみると、公的機関については、前年に比べ3万円、4.5%の減少となった。一方、民間機関については、前年に比べ14万円、3.8%の増加となった。

このうち勤労者世帯についてみると、公的機関については、前年に比べ20万円、20.0%の減少となった。一方、民間機関については、前年に比べ44万円、7.9%の増加となった。

(表5)

表5 負債の種類別負債現在高 - 2013, 2014年 -

項 目	二人以上の世帯							
	2013年				2014年			
	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	負債保有 世帯割合 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	負債保有 世帯割合 (%)
負債現在高	499	100.0	6.4	38.7	509	100.0	2.0	37.8
住宅・土地のための負債	448	89.8	6.4	28.1	458	90.0	2.2	27.3
公的機関	67	13.4	9.8	5.8	64	12.6	-4.5	4.8
民間機関	365	73.1	7.0	22.2	379	74.5	3.8	22.2
その他	17	3.4	-10.5	2.5	15	2.9	-11.8	2.1
住宅・土地以外の負債	37	7.4	5.7	8.0	37	7.3	0.0	7.8
公的機関	9	1.8	12.5	2.2	5	1.0	-44.4	1.5
民間機関	24	4.8	4.3	5.1	27	5.3	12.5	5.4
その他	5	1.0	0.0	2.0	5	1.0	0.0	2.0
月賦・年賦	14	2.8	0.0	14.1	14	2.8	0.0	14.2

項 目	二人以上の世帯のうち勤労者世帯							
	2013年				2014年			
	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	負債保有 世帯割合 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	負債保有 世帯割合 (%)
負債現在高	740	100.0	6.5	54.0	756	100.0	2.2	52.9
住宅・土地のための負債	687	92.8	6.0	42.2	710	93.9	3.3	40.9
公的機関	100	13.5	7.5	8.0	80	10.6	-20.0	5.9
民間機関	559	75.5	6.9	33.7	603	79.8	7.9	34.1
その他	28	3.8	-9.7	4.1	27	3.6	-3.6	3.5
住宅・土地以外の負債	35	4.7	20.7	10.2	27	3.6	-22.9	9.5
公的機関	9	1.2	50.0	2.4	3	0.4	-66.7	1.5
民間機関	22	3.0	22.2	6.5	19	2.5	-13.6	6.6
その他	4	0.5	-20.0	2.6	5	0.7	25.0	2.6
月賦・年賦	18	2.4	0.0	18.7	19	2.5	5.6	19.1